

耳管機能検査装置 JK-05A

仕様

販売名: 耳管機能検査装置JK-05A
 類別: 機械器具23 聴力検査用器具
 一般的名称: 耳管機能検査装置
 JMDNコード: 70097000
 医療機器分類: 管理医療機器 クラスII
 特定保守管理医療機器: 非該当
 修理区分: 非特定保守管理医療機器/第2区分
 適用規格: JIS T 0601-1:2014, JIS T 0601-1-2:2012

検査機能

音響法
外耳道音圧
 外耳道音圧測定レンジ: フルスケール20、40dB (音圧変化量の表示幅)
 外耳道音圧測定精度: ±4dB
 音圧校正レベル: 55dB SPL、または50dB SPL (デフォルト値)
 デュレーションタイム: 50ms~5000ms、5ms分解能で計測結果を表示
咽頭雑音
 咽頭雑音測定レンジ: フルスケール20、40dB (音圧変化量の表示幅)
 咽頭雑音測定精度: ±4dB
 スピーカ音源: 7kHzオクターブバンドノイズ 最大出力123.0dB (F) ±1.5dB
インピーダンス法
 プロープ音周波数: 226Hz (±3%以内)
 プロープ音出力音圧: 85dB SPL (±3dB以内)
 コンプライアンス測定レンジ: フルスケール0.5、1.0、2.0ml
 (コンプライアンス変化量の表示幅)
 コンプライアンス測定範囲: 0.5~8.0ml
鼻咽腔圧
 鼻咽腔圧測定レンジ: フルスケール600、1200、±600、±1200daPa
 鼻咽腔圧測定精度: ±10%
咽頭雑音
 咽頭雑音測定レンジ: フルスケール20dB (音圧変化量の表示幅)
 咽頭雑音測定精度: ±4dB
 開大圧表示機能: 等価容積が上昇し0.2mlを超えた時の鼻咽腔圧を画面表示する。
T.T.A.G.法 (Dタイプのみ)
外耳道圧
 外耳道圧測定レンジ: フルスケール40、80、300、±40、±80、±300daPa
 外耳道圧測定精度: ±5%以下 (ただし40daPa未満の圧力については±2daPa以下)
鼻咽腔圧
 鼻咽腔圧測定レンジ: フルスケール600、1200、±600、±1200daPa
 鼻咽腔圧測定精度: ±10%
咽頭雑音
 咽頭雑音測定レンジ: フルスケール+20dB (音圧変化量の表示幅)
 咽頭雑音測定精度: ±4dB
 開大圧表示機能: 外耳道の圧力上昇が+20daPa若しくは圧力降下が-20daPaに至った時の鼻咽腔圧を画面表示する。
インフレーション・デフレーション法 (Dタイプのみ)
外耳道圧
 外耳道圧測定レンジ: -600~+800、-225~+300daPa
 外耳道圧測定精度: ±5%以下
 (ただし40daPa未満の圧力については±2daPa以下)
 外耳道圧力可変幅: 約1000daPa (圧力ダイヤルのLock to Lock)
 (条件: 約1気圧の大気中で、外耳道圧検出用チューブ (Inf-Def法用プロープ) の先端に3mlのキャピティをつけた場合)
 外耳道圧力警告機能: 定められた外耳道圧力により警告音を出す。
 断続音 -400daPa以下、+600daPa以上
 連続音 -650daPa以下、+850daPa以上
 外耳道圧力開放機能: 定められた外耳道圧力によりピンチバルブを開放して減圧する。+950daPaまたは-800daPa
 開大圧表示機能: 検査停止時に、測定した外耳道圧力の最大値を数値表示する。但し20daPa以上の正の最大圧のない場合は表示しない。

表示範囲内最大値表示 (Area Max Pressure)
 : 検査停止時に、画面上に表示されている外耳道圧力の最大値を数値表示する。但し20daPa以上の正の最大圧のない場合は表示しない。

デジタル部

表示器: 320×240ドット モノクロ液晶表示器 (バックライト付き)
 内蔵プリンタ: 感熱式ラインプリンタ (感熱記録紙TP-19)
 外部インターフェイス: シリアル通信機能 (RS-232-C準拠)
 9-PIN D-SUB端子

電源

電撃に対する保護の形式による分類: クラスI機器
 電撃に対する保護の程度による装着部の分類: B形装着部
 電源: AC100V 50/60Hz 約25VA

環境条件

使用温湿度範囲: 5~35℃ 85%R.H.以下 500~1050hPa
 (いずれも結露なきこと)

大きさ・重さ

本体: 330 (幅) × 260 (奥行) × 180 (高さ) mm・約5.0kg
 オプションユニット: 330 (幅) × 375 (奥行) × 65 (高さ) mm・約4.2kg

別売品

データベースソフト 耳管機能検査装置 DF-66
 開業医向け電子カルテ接続ソフト DF-70
 JK-05用通信ケーブル JK-05-162
 ヘッドバンド EB-23

付属品

音響法スピーカ	1
音響法プロープ	1
鼻咽腔圧検出チューブ	1
3P電源コード	1
スピーカ先端部A (JK040330)	3
スピーカ保護スポンジ (JK-05-024)	5
ポリツェル氏球先端	2
モニター用イヤホン	1
ヒューズ 19195-3.15Aまたは02183.15.MXP	2
感熱記録紙TP-19	2
収納カバー	1
耳せん φ7~14 (8種)	各3
付属品収納ケース (プラスチックケース)	1
クリーニングワイヤ (RS320260)	1
耳管機能検査マニュアル	1

以下はオプションユニット付 (Dタイプ) の場合に付属

TTAG法用プロープ	1
外耳道圧検出用チューブ (Inf-Def法用プロープ)	1
オプションユニット接続ケーブル	1
シリンジ テルモ (20ml)	4

耳管機能測定装置を用いた耳管機能測定 450点
 耳管機能測定装置を用いて音響耳管法、耳管鼓室気流動体法又は加圧減圧法のいずれか又は複数により測定した場合に算定する

※本仕様は改良のためお断りなく変更することがあります。

医療機器認証番号 220AABZX00038000



本社・営業部 〒185-8533 東京都国分寺市東元町3-20-41
 TEL: 042-359-7880 FAX: 042-359-7441
 東京営業所 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-5-5 (新宿農協会館)
 TEL: 03-6276-1433 FAX: 03-6276-1425
 仙台営業所 〒982-0015 仙台市太白区南大野田25-13
 TEL: 022-249-5533 FAX: 022-249-5535
 西日本営業所 〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-5 (横山ビル)
 TEL: 06-6363-4133 FAX: 06-4797-0111
 東日本リオン(株) 〒330-0062 さいたま市浦和区仲町3-11-2
 TEL: 048-824-1205 FAX: 048-824-8885
 東海リオン(株) 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-9 (スカイオアシス栄ビル)
 TEL: 052-954-1733 FAX: 052-954-1734
 九州リオン(株) 〒812-0039 福岡市博多区冷泉町5-18
 TEL: 092-281-5361 FAX: 092-291-2847

www.rion.co.jp

お問い合わせ・ご相談は・・・



JK-05A

耳管機能検査装置 JK-05A

耳管機能不全の診断や治療効果の判定に最適

Dタイプ



音響法とインピーダンス法の検査に特化したSタイプ

音響法、インピーダンス法、T.T.A.G.法、インフレーション・デフレーション法の耳管機能検査を網羅したDタイプ

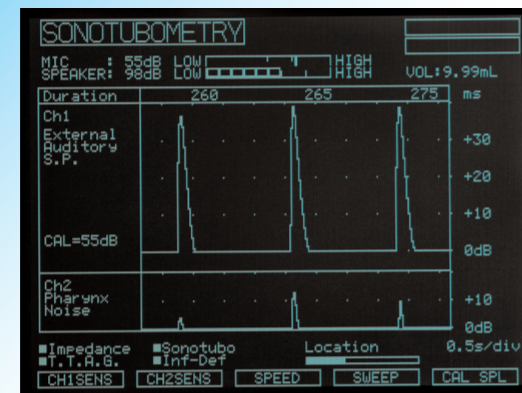
耳管狭窄症、耳管開放症、滲出性中耳炎など、耳管を主体とした疾患の診断やその治療の判定が行えます。

特長

- 音響法とインピーダンス法の検査ができるSタイプ（標準）と、その他にT.T.A.G.法、インフレーション・デフレーション法（加圧減圧法）の検査ができるDタイプ（高機能）があります。
- 高出力スピーカにより、音響法による測定時の出力音圧を上げ、測定時のS/N比が向上しました。
- 小型プローブにより、音響法とインピーダンス法でプローブ交換の必要がありません。
- 鼻咽腔圧、外耳道圧の正負圧表示によりツインビー法の検査にも対応しています。（インピーダンス法およびT.T.A.G.法）
- 音響法の負荷音圧を手動調整機能で設定できます。負荷音圧は数値表示され、任意の音圧で測定が行えます。
- シリアル通信機能（RS-232-Cに準拠）を装備しており、別売ソフトウェアにより電子カルテに対応できます。
- 感熱式ラインプリンタを内蔵しています。

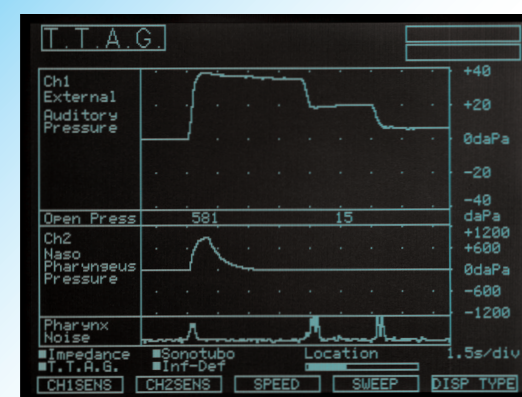
検査項目

音響法



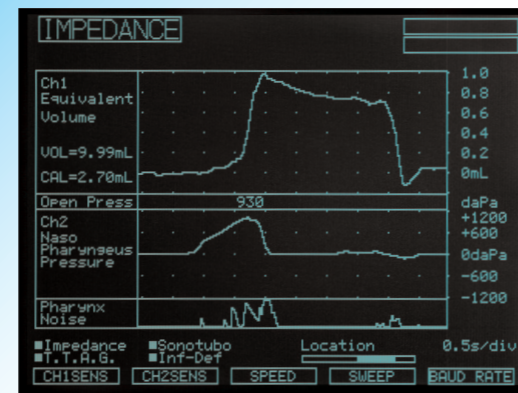
自然な状態で嚙下運動を行った時の耳管開閉機能の検査が行えます。鼓膜穿孔の有無を問わず、また幼児の検査も可能です。鼻咽腔に負荷音を与えて外耳道に装着したプローブで負荷音の検出を行います。

T.T.A.G.法



インピーダンス法と同様に行い、中耳腔の圧力を鼓膜を介した外耳道の圧力として測定・表示します（daPa）。また、鼻咽腔圧、咽頭ノイズも同時に表示します。鼓膜穿孔の有無を問わず検査できます。

インピーダンス法



バルサルバ法やツインビー法での耳管の強制通気の可・不可、および嚙下による通気で中耳腔圧を解消する過程が測定でき、中耳腔圧力の変化を音響容積として表示します（mL）。また、鼻咽腔圧、咽頭ノイズも同時に表示します。鼓膜穿孔のない方の検査ができます。

インフレーション・デフレーション法（加圧減圧法）



鼓膜穿孔の症例を対象とした検査法です。密閉した外耳道より圧変化を行い、耳管の開閉にともなう外耳道の圧力変化を記録します。耳管が開いた時の受動的開大圧、また一定圧を与え嚙下により開閉させる能動的開閉機能を測定することができます。

Sタイプ（標準）

検査可能項目

- 音響法
- インピーダンス法



Dタイプ（高機能）

検査可能項目

- 音響法
- インピーダンス法
- T.T.A.G.法
- インフレーション・デフレーション法（加圧減圧法）



※Sタイプ購入後にDタイプへ変更（バージョンアップ）することはできません。